

岩手県森林公園

県民の森だより

2018.
10

Vol.153

発行 岩手県県民の森
(公益社団法人
岩手県緑化推進委員会)



9/23 みんなの広場

秋 晴れの夕方の園内。日が沈みかけた頃に、優しく夕日に照らされた岩手山とゆっくり流れる雲に秋の穏やかさを感じさせられました。山の天気は変わりやすく、朝と夕方は気温が急に下がり始め、肌寒いくらいです。しかし、この急激な気温の低下は紅葉する木にとっては良いことなそうです。例年通りだと、11月の初め頃までは紅葉が楽しめると思いますので、是非今年の良い県民の森の秋を満喫しに来てみて下さい。

岩手県県民の森 管理事務所

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5

TEL. 0195-78-2092 FAX. 0195-71-1778

岩手県県民の森

検索

県民の森 行事より

9月23日開催

きのこ教室

葉が色付き始めた園内を実際に歩きながら、きのこを採取して講師の方と一緒に学ぶ勉強会が開かれました。食用・毒性に関わらず、様々な種類のきのこが見つかりました。4班に分かれ、それぞれのスタッフに従って、きのこを探しました。中には、自分できのこの図鑑を持ってきて、採ったきのこを見比べている熱心な方もいました。また、参加者同士きのこを通じてコミュニケーションを取っている様子が印象的な行事でした。



9月24日開催

木工教室 ミニテーブル

今回の木工教室では、前回紹介したミニイスとセットで使えるミニテーブルを作りました。参加した方は、「縁側で友達とお茶ができるような小さなテーブルが欲しかった」と話していて、今回参加して頂いたそうです。糸鋸いとのこを使って丸く切る作業が難しいと言っていましたが、とても上手に切っていました。また、開催日当日は中秋の名月ちゅうしゅう（十五夜）で、お月見をする日でもあり、出来上がったテーブルで夜にお月見もしたいと、楽しそうに話していました。



園内の様子

実りの秋。園内では様々な植物が見られます。それぞれ面白い特徴があって、秋の散策を楽しくさせてくれます。紅葉する葉だけではなく、是非葉に隠れた植物も観察してみてください。



ヤマボウシ



ツリバナ



シデコブシ



オオカメノキ



ノブドウ



シロヤマブキ



ホコリタケ

楽しく森を
散策しよう！

『紅葉』をもっと知ろう！



県民の森では秋になると、紅葉を楽しみに多くの方が訪れます。見るだけでも十分かもしれませんが、少しだけ紅葉について知ってみると、また違った楽しみ方が見つかるはずです。

そもそも紅葉とは？

落葉樹が葉を落とす前に葉の色が変わる自然現象のこと。

紅葉→赤色に。黄葉→黄色に。褐（かつ）葉→褐色に。変わる色によって、呼び方も変わってきます。



紅葉

例

ヤマモミジ・サクラ
ニシキギ
ウルシ など



こうよう 黄葉

例

イチヨウ・カツラ
シラカンバ
イタヤカエデ など



かつよう 褐葉

例

ブナ・カシワ
トチノキ
ミズナラ など

★葉の色の変化は、その時の気候や植物が生えている環境などで変わってきます。

もみじとかえでの違い

『もみじ』と『かえで』、名前が違うので一見別物かな？と思われがちです。しかし、『もみじ』も『かえで』も実は同じ植物分類の中に入っています。もみじは、カエデ科カエデ属の植物でモミジという科や属はありません。園芸や盆栽の世界では葉っぱの形によって区別しているようです。



もみじ

葉の切れ込みが深く、小ぶりで可愛らしい形。赤く鮮やかな色の強いものが多い。
(例：イロハモミジ)



かえで

葉が大きくて、切れ込みが浅い。名の由来は、水かきの付いた蛙の手に葉が似ている『カエルの手』から。
(例：ハウチワカエデ)

ちなみに…

イチヨウとギンナン

銀杏と書いて『イチヨウ』と読んだり『ギンナン』とも読みますね。こちらは同じ木の事を指しますが、木のことを『イチヨウ』と呼び、木になる実を『ギンナン』と呼びます。アズの実を小さくしたようで、銀のように真っ白な実なので、『銀杏』と呼ばれるようになったそうです。

～美しく紅葉する条件～

①気温の低下と乾燥

夜、急に冷え込み、降雨が少なく大気が乾燥し、地中の水分が減少する日が続くことが最良の条件です。

②直射日光の強さ

日照りが続き、お日様の光がたくさん浴びれると◎。

③遺伝的な要素

毎年美しく紅葉する木の枝を取り、挿し木、接ぎ木などで繁殖した子孫は、その多くがまた美しく紅葉するそうです。これは樹木に含まれる成分などによるものだと言われています。

気をつけて！

ツタウルシとヤマウルシ

他の植物に先駆けて、美しい紅葉を見せてくれるウルシ。つい、綺麗だと思って知らずに近寄ったり、触ってしまうと肌が被れてしまいます。特徴をよく知っておきましょう。




▲ ヤマウルシ
◀ ツタウルシ



今回紹介する植物は、独特な見た目が特徴的な「マムシグサ」です。その名の通り、花の様子や茎の部分の斑点がマムシの模様似ていることが由来になっているそうです。春の花の姿(写真左)も変わっていますが、秋になると真っ赤に熟し、トウモロコシのように果実をつける実(写真右)も目を引きます。栄養状態によっては、性転換もするという何とも不思議な植物です。

湿った林内に生える多年草で、県民の森ではよくみんなの広場の日陰になっているところや、学習館から少し下に下がった遊び場広場付近で見ることが出来ます。是非一度見てもらいたい植物です。



ギャラリー展示情報

風景をはじめ、植物や動物など自然を生きるものの一瞬をカメラで捉えた美しい作品ばかりです。ぜひ、見に来てください。

“山里の賦” ～息づく山里、花の郷～ part-5

- ◆ 展示者 菅原 正俊 氏
畑 謙吉 氏
- ◆ 展示内容 写真展
- ◆ 展示期間 平成 30 年 10 月 31 日 (水) まで
- ◆ 料 金 無料
- ◆ 場 所 岩手県県民の森森林ふれあい学習館
2階ギャラリー



※開館時間は9：00～16：00

県民の森 行事案内

◆ 県民の森 野鳥観察会

定員 20 名

平成 30 年 10 月 28 日 (日)
9 時 00 分～11 時 00 分

参加費：500 円 (温泉入浴券付)
集合場所：県民の森 フォレストアイ
持ち物：双眼鏡をお持ちの方はご持参下さい。(貸出も可能です)

※散策に適した服装でお越しください



◆ 木工教室 ティッシュ&小物入れ

定員 10 名

平成 30 年 11 月 11 日 (日)

9 時 00 分～15 時 30 分
参加費：3,000 円 (着色料別途 1,000 円)
集合場所：県民の森 木材工芸センター
持ち物：昼食・飲み物・ゴム手袋 など
※作業しやすい服装でお越しください

